

各 位

会社名 タカラバイオ株式会社  
(コード番号 4974 東証プライム)  
本社所在地 滋賀県草津市野路東七丁目4番 38 号  
代表者 代表取締役社長 仲 尾 功 一  
問合せ先 執行役員広報・IR 担当 掛 見 卓 也  
TEL (077) 565-6970  
URL <https://www.takara-bio.co.jp>

「NY-ESO-1・siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療薬」に関する  
大塚製薬株式会社との共同開発・独占販売契約の終了について

タカラバイオ株式会社は、大塚製薬株式会社とのNY-ESO-1・siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療薬<sup>注1</sup>共同開発及び販売に関する契約(2018年4月9日締結、以下「本契約」)を終了することを本日付で同社と合意しました。

(注1) 開発コード:TBI-1301、国際一般名:mipetresgene autoleucel

2017年1月より滑膜肉腫を対象とした国内第I/II相臨床試験を実施、2018年3月に先駆け審査指定制度対象品目の指定を受けました。

記

1. 本契約終了の理由

当社は、大塚製薬株式会社と共同で、NY-ESO-1・siTCR<sup>®</sup>遺伝子治療薬(以下、「本品」)の滑膜肉腫を対象とした日本国内での開発を進め、製造販売承認申請に向けた準備を進めてまいりましたが、本品に係る方針や戦略を両社で総合的に検討した結果、本契約を終了することで合意しました。なお、本判断は、本品の有効性・安全性の問題によるものではありません。

2. 本契約終了の内容等

本契約終了にともない当社が大塚製薬株式会社に許諾した本品に関する、技術・知財・その他の権利は、当社に返還されます。また、今後、本契約に基づくマイルストーン達成時の一時金および治験製品販売の売上金は発生しません。

### 3. 本契約終了の相手先の概要

(1) 名称	大塚製薬株式会社		
(2) 所在地	東京都千代田区神田司町2-9		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 井上 眞		
(4) 事業内容	医薬品・臨床検査・医療機器・食料品・化粧品 <small>の製造、製造販売、販売、輸出ならびに輸入</small>		
(5) 資本金	200 億円		
(6) 設立年月日	1964 年8月 10 日		
(7) 大株主および持株比率	大塚ホールディングス株式会社(100%)		
(8) 上場会社との当該会社との間の関係	資本関係	記載すべき当該事項はありません。	
	人的関係	記載すべき当該事項はありません。	
	取引関係	記載すべき当該事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	記載すべき当該事項はありません。	
(9) 当該会社の親会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態(注)	(百万円)		
決算期	2019 年 12 月期	2020 年 12 月期	2021 年 12 月期
資本合計	1,795,440	1,883,432	2,045,189
資産合計	2,581,309	2,627,807	2,820,915
1株当たり親会社所有者 帰属持分(円)	3,257.17	3,415.54	3,707.64
売上収益	1,396,240	1,422,826	1,498,276
営業利益	176,585	198,582	154,497
親会社の所有者に帰属 する当期純利益	127,151	148,137	125,463
基本的1株当たり当期利 益(円)	234.55	273.15	231.32
1株当たり配当金(円)	100.00	100.00	100.00

(注) 大塚製薬株式会社は大塚ホールディングス株式会社の完全子会社です。大塚製薬株式会社の経営成績および財政状態は非公開情報ですので、親会社である大塚ホールディングス株式会社(IFRS 適用会社)に関する情報を記載しております。

#### 4. 日程

取締役会決議、契約終了日 2022年11月10日

#### 5. 今後の見通し

本契約終了による当社の2023年3月期の連結業績に与える影響は軽微です。

#### <参考資料>

##### 1. 当期連結業績予想(2022年11月10日公表)および前期連結業績

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益
当期連結業績予想 (2023年3月期)	77,800	19,000	19,100	13,800
前期連結業績 (2022年3月期)	67,699	28,902	28,459	19,849

以上

#### 当資料取り扱い上の注意点

当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。